

ど
う
ぞ
ら
る
？

ど
う
ぞ
ら
る
！

県
域
オ
ー
ル
J
A

令和4年
県域オールJA

JAグループ福岡を結集！
2022 県域オールJAへ！！
農業・農村の新時代を切り拓く。

県域オールJAビジョン

～あなたとふるさとのいちばん近くに～

“食と農”の新たな価値を創造し、
ふくおかの暮らしを豊かにするナンバーワンJAをめざします。

ビジョンに描いたとおり、**県域オールJA**は、
これまで以上に組合員さんに寄り添い続けるよ！
このリーフレットを読んで、**県域オールJA**になって
「変わること」「変わらないこと」をしっかりチェック
して、**県域オールJA**のこと、今からみんなで考えよう！

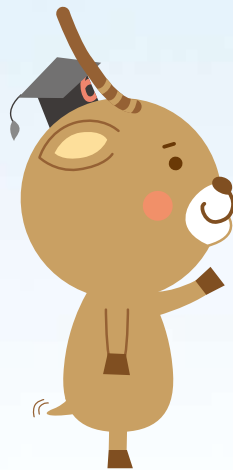


©JAグループ福岡



目次

なぜ県域オールJAを目指すの？	01
県域オールJAになってどうなる??	03
目指す姿は“あなたとふるさとのいちばん近くに”	07
広域総合営農センターで何を実現するの?	13
パートナー市場って何?農産物販売コントロールセンターって何?	15
地域のブランドは守られるの?	17
なぜ出荷資材の集約を進めるの?	19
なぜ資材銘柄の集約を進めるの?	21
なぜ配送の集約、在庫管理の徹底が必要なの?	23
農業に関する情報をどのように活用するの?	25
あなたとふるさとのいちばん近くに!	27
県域オールJA実現に向けた検討スケジュール	29
合併メリットを数字で可視化	31



GO!

なぜ県域オールJAを目指すの？

①



合併反対!! うちのJAは合併せんでやっていける!

組合員の高齢化



平均年齢
65歳
61歳以上
70%

若手職員の流出

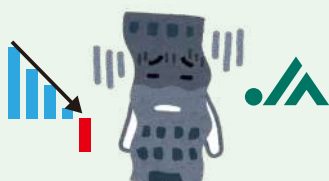


退職の
7割が
34歳以下

施設老朽化



5年後 赤字8JA



意思反映不足



JA単独では解決が難しい課題が山積みです。
地域の皆様へサービスが提供できなくなるかも……



このままでは……

②



JAはなくならん! うちのJAはしっかりやっとな!

JAへの攻撃



環境変化



外部環境半端ないって

厳しい環境を打破するためには、
それぞれが努力するだけでは限界があります。
「頑張りかた」の方向をそろえ、
効率化・協同化に取り組む必要があります。

効率化・協同化!





③



うちのJAだけは大丈夫…やろ…

この先5年は大丈夫かもしれませんが。
では10年先はどうですか？

JAグループ福岡の力を結集しなければ、
環境に適応することは難しいと考えます。
将来を見据えた「**先の手**」が必要と考えます。

戦略的な「**先の手**」



組合員にはメリットがないやん??
合併したらJAが遠い存在になるばい。



組合員の声にもとづき、**目指すべき姿**を掲げました!
今以上に寄り添う存在になることをお約束します!

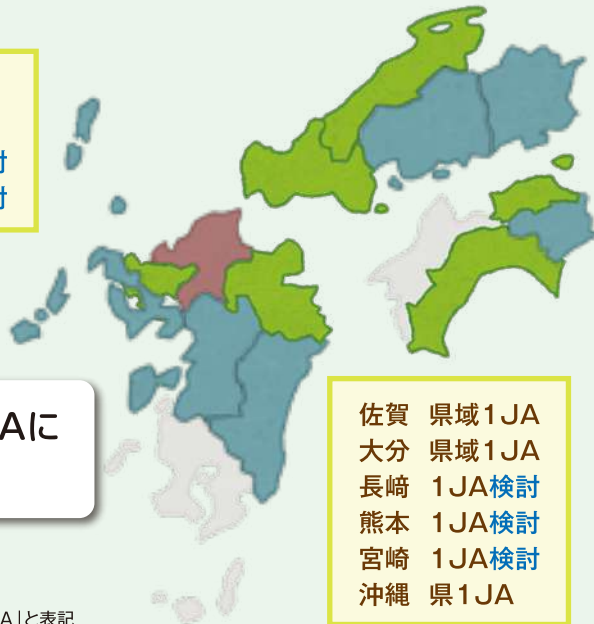


～あなたとふるさとのいちばん近くに～

「検討」も含め全国35府県が県域JAをめざす!

④

島根 県1JA
山口 県1JA
岡山 1JA検討
広島 1JA検討



香川 県1JA
高知 県域1JA
徳島 1JA検討

佐賀 県域1JA
大分 県域1JA
長崎 1JA検討
熊本 1JA検討
宮崎 1JA検討
沖縄 県1JA



周りも県域JAに
なるんやね!

知らんやった

※県1JA未達の場合「県域1JA」と表記

そうすると…



県内JAは周囲の**県域JA**と**知名度やブランド力、コスト面、経営力で競い合う**こととなりますね…



県域オールJAになってどうなる??

①



合併したら俺に何かメリットあると??

県域オールJAになることで全国屈指となる
経営資源(ヒト・モノ・カネ)を最大限に活用し、
全国No.1の**組合員還元**を目指します!



農業経営に直結するメリットを教えてくださいな

具体的に!

例えば、営農・販売事業では、広域総合営農センターや、
農産物販売コントロールセンター設置など、
農業者所得を向上するための
様々な戦略を用意していますよ!



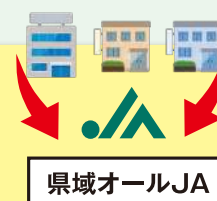
後ほど詳しく!

②



資料は読んだけど、こういうのは
県域オールJAじゃないと実現できんと??

これまでの合併との違いは、JAだけでなく**中央会・
連合会機能を県域オールJAに取り込む**ことです!
経営資源を集中し、素早い実践につなげます!



農協は自己改革とかIT化とか物流効率化とか、
資料には良かごと書くけどのんびりしとうもんね~!

もちろん、合併までに出来ることは、
すぐにでも取り組みを開始します!




JAグループがやっと本気になったんやね!
話ぐらいは聞いてやらんといかんかも。

③



合併したら購買手数料が上がるんじゃないと?

 JAに購買手数料をいくら払っているか把握されていますか?



言われたら、肥料買うときに、JAの手数料が何パーセントとかいちいち気にせんね・・・

県域オールJAでは、購買品をお届けするために必要な手数料を組合員さんからいただきます。もちろん、様々な取り組みによって、**受注コストや運送コストを削減し、低価格で供給することが前提ですよ!**

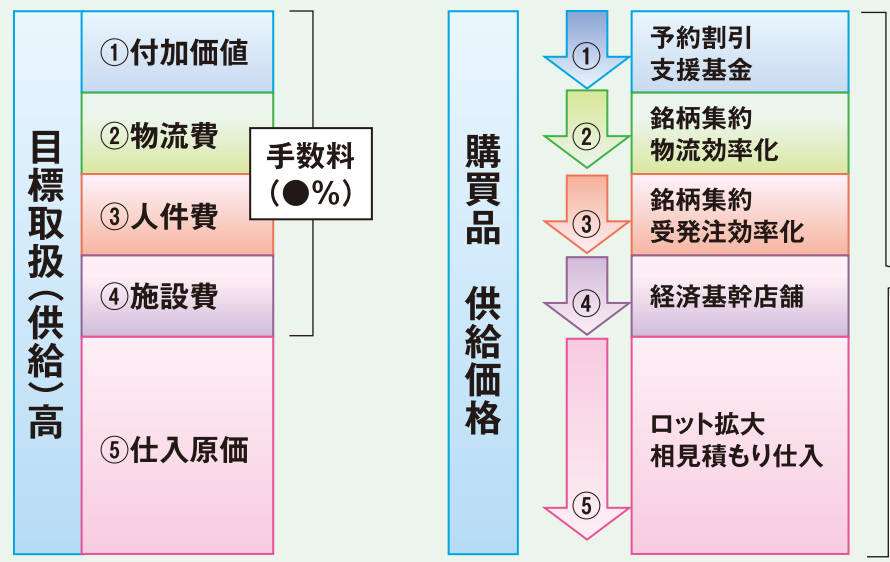


合併して手数料率が上がっても、今より肥料が安く買えるなら、それで良いばい!



④

手数料は事業運営に必要な金額をいただきます! 県域オールJAはあらゆる戦略で効率化・合理化を進め、**合併メリットで農家所得を向上します!**



県域オールJA 経済事業戦略



県域オールJAになってどうなる??

役割分担で組合員接点・現場を強化!

⑤

組織機構は「事業本部制」と「地域本部制」の良いところ取りを採用します。



うちのJAが「地域本部」になるらしいけど、よう分からん!!

JAの本店と連合会は同じような仕事をそれぞれで行っています。そこで、県域オールJAの本店は事業運営に特化し、**お近くの支店や事業所は機能を充実強化**することが、最大の目標となります。



よく考えたら、あんまり本店には用事がないか。現場の人を増やして、支店・事業所の対応を良くするために**今の本店が地域本部に変わるんやね。**

組合員の意思反映を強化!

⑥

県域オールJAになったら役員とか総代が減るやろ? 組合員の声が届かんのやない?



今のJAの総代会に代わる「**地域本部評議会**」
今のJAの理事会に代わる「**地域本部運営委員会**」を設置します。
県域オールJAは**地域の意見を尊重しながら**全体の意思決定を行っていきます!



それなら、今とあんまり変わらんけど、**結局意見を言いやすいのは支店の職員とか渉外やんね...**

県域オールJAでは、
全支店に「**支店運営委員会**」を設置します。
組合員さんが主役となり
「みんなで企画し、みんなで実行」します!





組合員メリットを強化!

⑦



他には何かないと??

JA総合事業を活かした、**総合ポイント制度**を検討しています。
事業利用や運営参画にポイントを付与します!



会議に参加してもポイントがもらえるんやね。
ポイントに応じた色んな還元サービスがあるけん、
もっとJAと上手に付き合わんといかん!(笑)

貯まる

事業利用!



会議(来店)!



表彰!



POINT

使える



でもなあ・・・昔ながらの小回りのきく農協の方が良いと思うけど・・・

これまでの組合員さんとの関係性は変えないことが大前提です。
一方で、**これからも組合員さんへのサービスを維持し、
向上していくために**、経営安定、事業改革、人財づくりに向けた
先の一手を打つ必要があります。



⑧

環境変化への対応、経営基盤強化、人財づくり



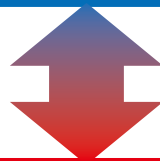
うちのJAも自力でやっていける経営体力があるか心配になってきた・・・
県域オールJAで「**変わること・変わらないこと**」を見極めて、
自分にどういったメリットがあるのか考えてみようかな。

目指す姿は“あなたとふるさと”

Not Change

県域オールJAになっても変わらないこと

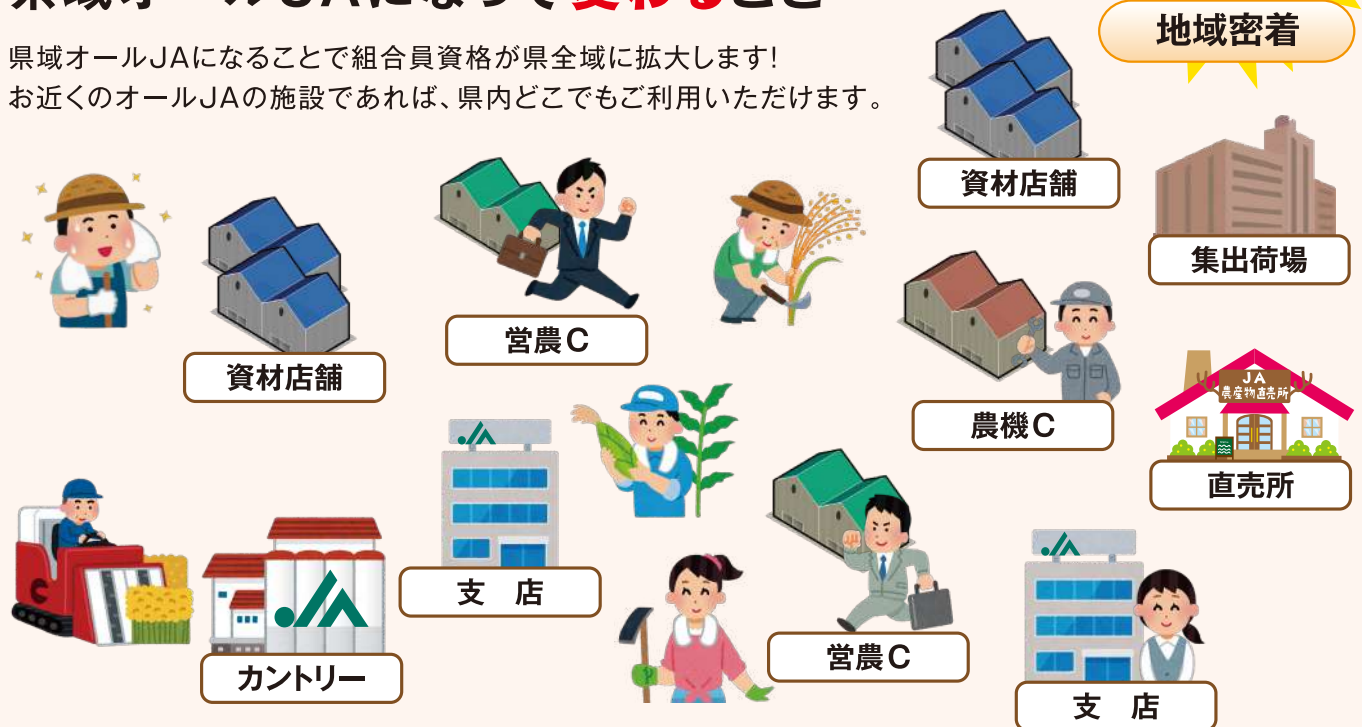
組合員さんとの距離、これまでの関係性は変わりません! 変えません!(電話番号も住所も変わりません)



Change

県域オールJAになって**変わる**こと

県域オールJAになることで組合員資格が県全域に拡大します!
お近くのオールJAの施設であれば、県内どこでもご利用いただけます。

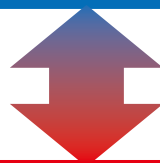
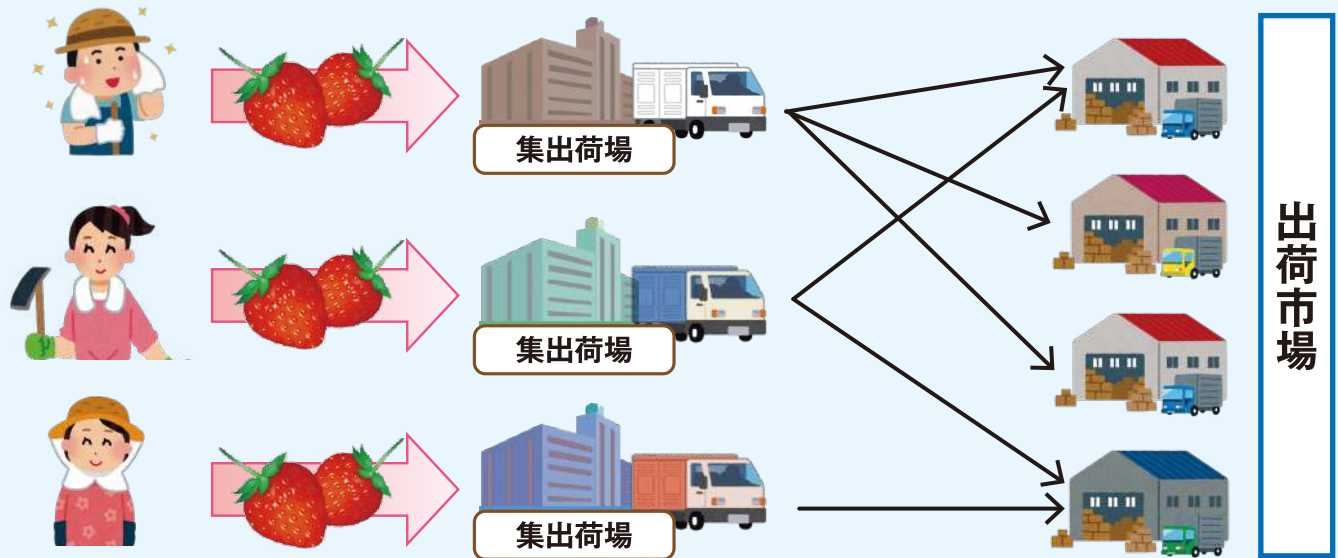


Not Change

県域オールJAになっても**変わらないこと**

これまで通り、お近くの集出荷場・選果場に出荷をお願いします！
※ただし、合併後は農業振興計画に沿って施設再編を実施する可能性があります。

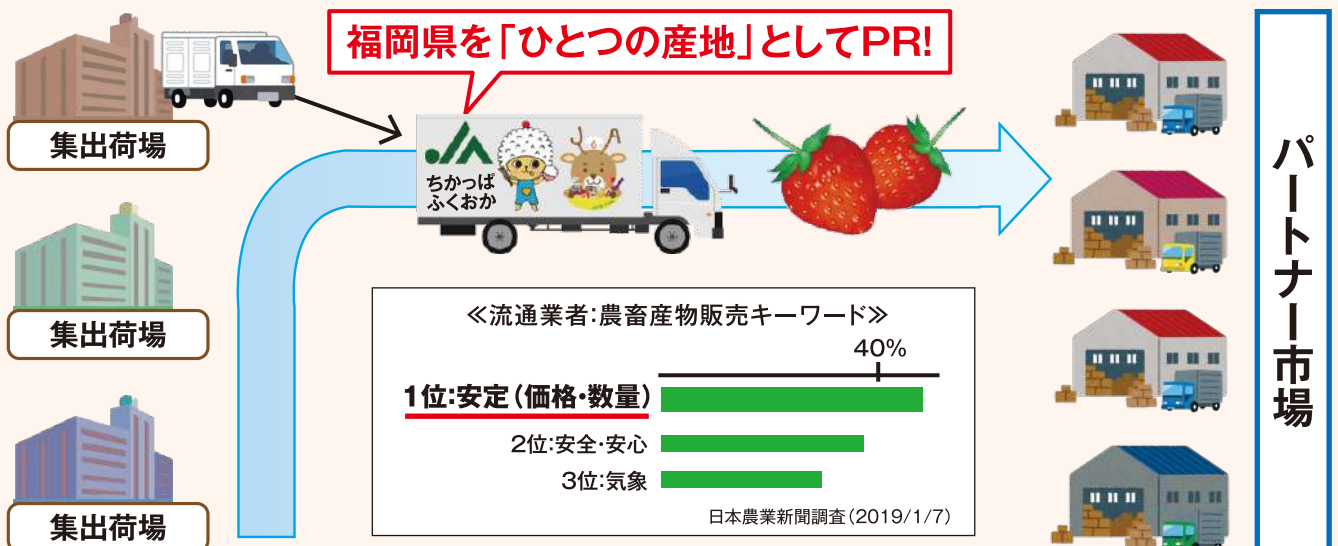
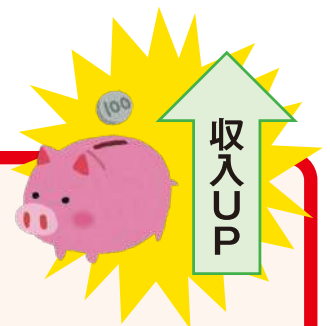
※JA集出荷場65箇所
→全出荷先147市場
約7,400通りの出荷ルート



Change

県域オールJAになっても**変わる**こと

県域協同出荷・協同物流でコストを低減し、農業者所得を向上します！
県域で出荷ロートをまとめ、安定供給によって産地の信頼性を向上します！



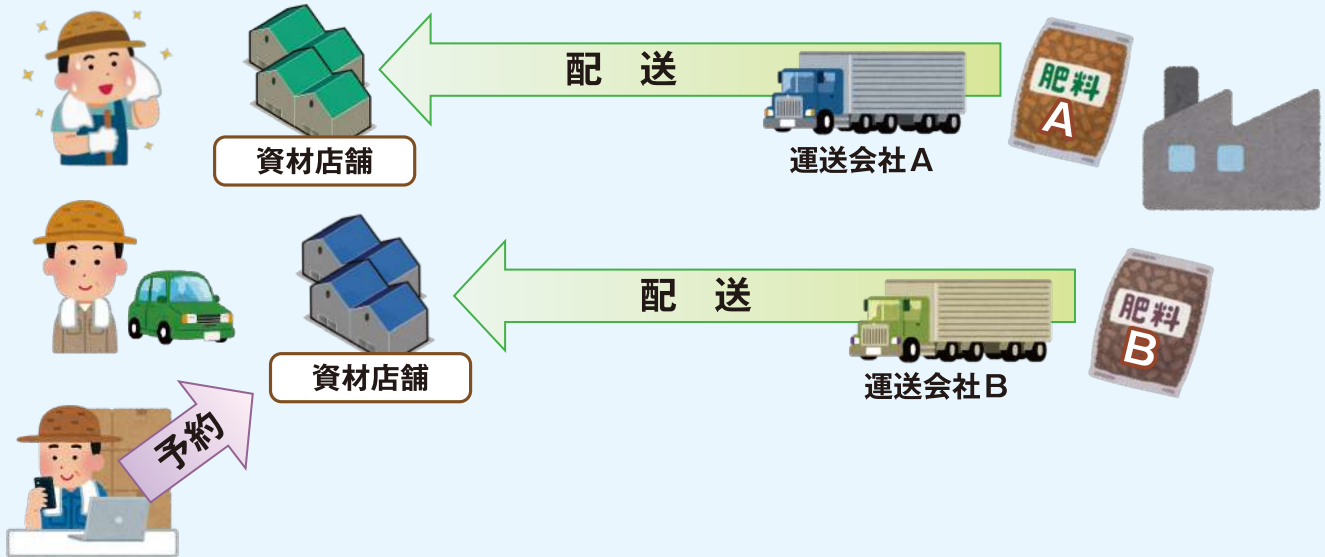
目指す姿は“あなたとふるさと”

Not Change

県域オールJAになっても変わらないこと

これまで通り、お近くの店舗で生産資材をご購入（予約）ください！
※ただし、合併後は利用実態に応じて施設集約を実施する可能性があります

※組合員アンケート
(2017年度調査)
生産資材の不満足要因
第一位は「価格」



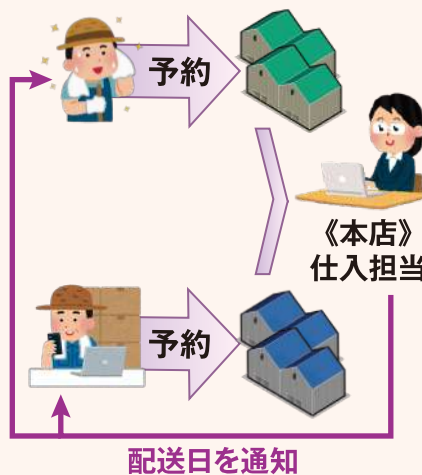
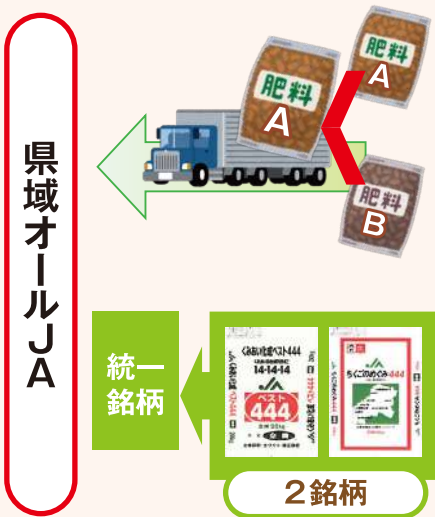
Change

県域オールJAになっても変わること

①同一成分でパッケージが違う肥料は1つにまとめ、まとめて安く仕入れます。

②県域でまとめて価格交渉し、最もメリットのある仕入先から仕入れます。
予約購入いただいた方への割引を強化します。

COST
コスト低減



③土壌診断に基づく提案・指導を実施します！
肥料・農薬がネットで購入出来るようになります！

Not Change

県域オールJAになっても**変わらないこと**

今ある生産部会（組合員組織）はそのままです!!

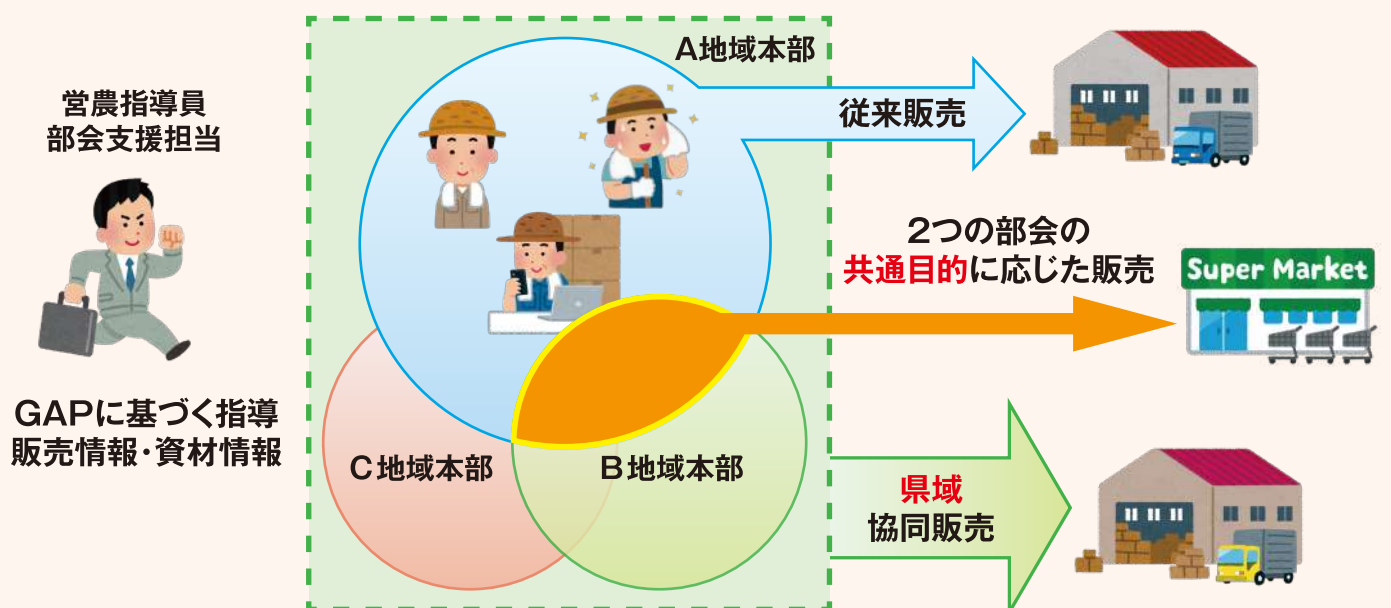
※ただし、合併後は構成員減少や運営実態に応じて再編する可能性があります。



Change

県域オールJAになっても**変わる**こと

生産部会（組合員組織）間の交流がこれまで以上に活性化されます!



目指す姿は“あなたとふるさと”

Not Change

県域オールJAになっても変わらないこと

組合員さんとの距離、これまでの関係性は変わりません! 変えません!(電話番号も住所も変わりません)



Change

県域オールJAになって変わること

組合員さんの「ひとりひとりの願い」に寄り添う職員を育成・配置します!



Not Change

県域オールJAになっても変わらないこと

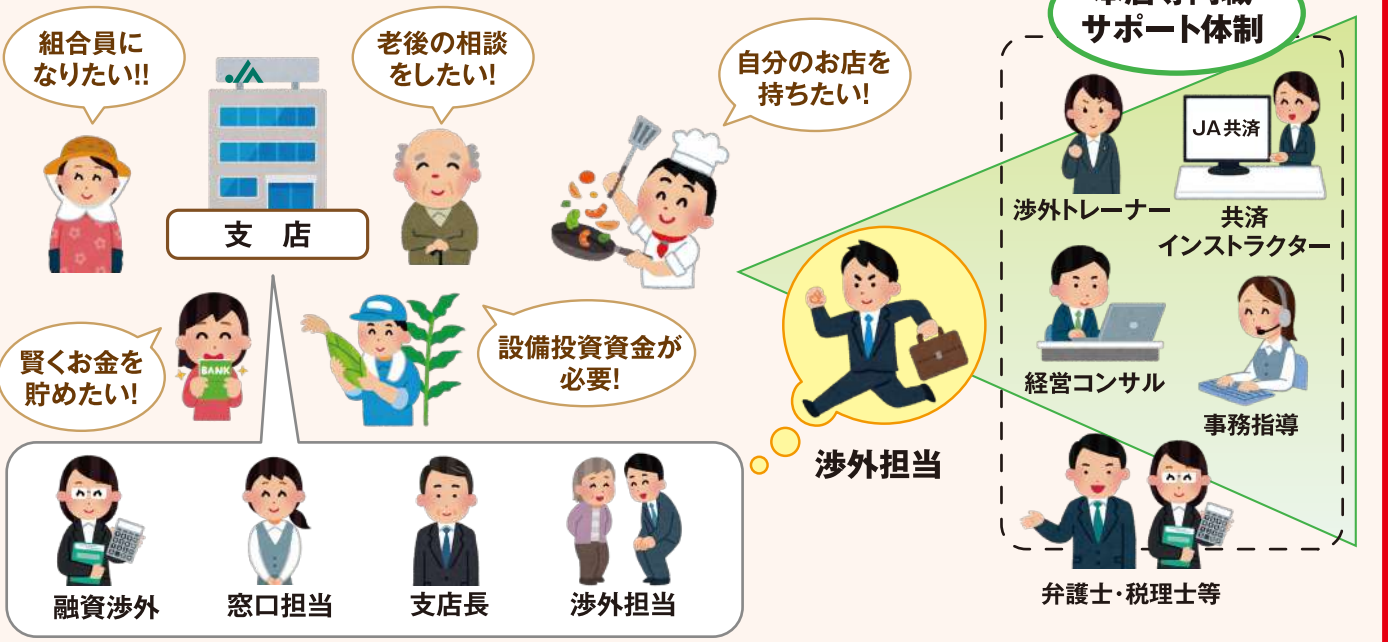
組合員さんとの距離、これまでの関係性は変わりません! 変えません!(電話番号も住所も変わりません)



Change

県域オールJAになって変わること

組合員さんの「ひとりひとりの願い」に寄り添う職員を育成・配置します!



広域総合営農センターで何を実現するの？

県域で人材活用！ノウハウ活用

①



営農指導強化！強化！言うは易しで、
人手は足りん！これ以上業務は増やせんばい！

各JAの本店業務が集約されて、
多くの職員を現場に再配置できるようになります。



営農指導はそんなに甘いものじゃない！！
配置されてすぐに指導できたら苦労せんばい！！

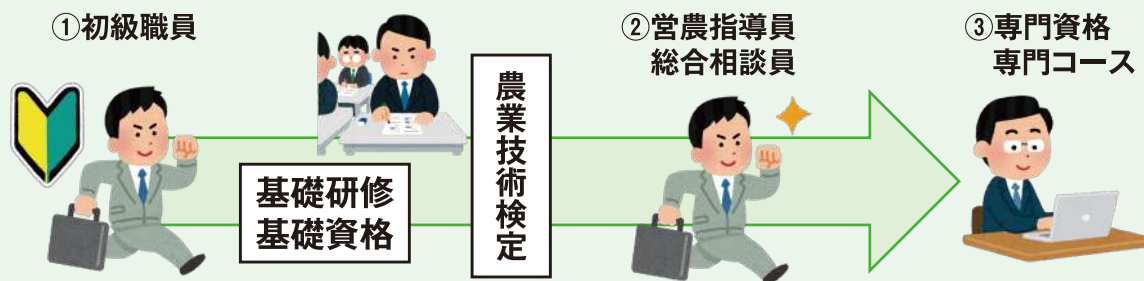
GAP推進とか、 経営コンサルとかどうすると!!?



資料読んだら営農経済職員の人材育成が検討されとうやん！

②

営農・経済部門職員キャリアアップ制度



経験豊富で専門的な職員は
広域総合営農センターのエリアで能力を発揮！
県域で活躍する人財を目指さなくちゃ！

販売専任





③

トウモロコシ
作りたいんやけど?



県内に優秀な
生産者さんがいるので
一度お話を伺いに
行きましょう!!



指導履歴
使用生産資材
品種・品質
販売先情報



広域データにアクセス!



県域で人材活用、知識・ノウハウの共有を進めて、
将来こんなことが実現できたらいいね!!

④



合併したらイキナリ優秀な人材が現れるわけじゃなからう!?
今からでも**人材育成・人材確保**をそれぞれのJAで
真剣にやらんといかんのやない?

ボーっとしよう場合じゃねえばい!

広域エリアで営農指導を充実・強化します!
また、**専門的な人財づくり**で
組合員が必要とする営農指導・
経営指導を実践します!

合併までに営農経済職員の
育成ロードマップを作成します。



パートナー市場って何？農産物販売コントロールセンターって何？

パートナー市場と販売方針を共有！

①



市場を集約するなんてできるわけないっ！
これまでの「お付き合い」があるやろっ！！

その市場との「お付き合い」を**見える化・数値化**して、
評価しましょうということですよね？



市場までの距離、取引頻度、取引金額などなど・・・

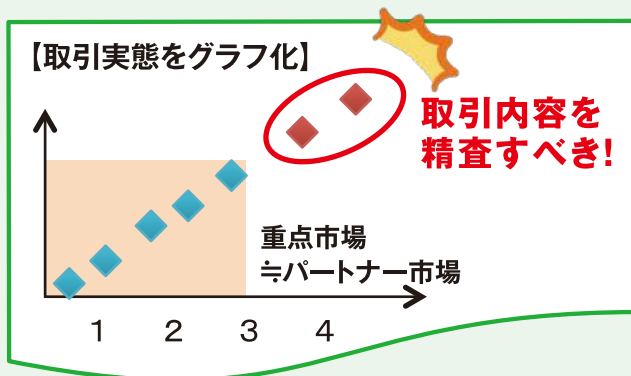
見える化・数値化
総合評価



販売方針共有！
販売目標共有！



当JAでは2つの市場について、
取引内容を精査・検証すべきとの分析結果が出ました！



まだ、ココと
取引しよった？(小声)



ほとんどがパートナー市場になるので、
これからも良いお付き合いが継続できそうですね。



県内の「出荷情報」をコントロール!

③



県全体の農産物出荷をコントロールう!?
できるわけなからうもん!

「モノ」を集めるんじゃなくて、「情報」を農産物販売コントロールセンターに集めるんですよ。すでに熊本県で取り組まれています!



「出荷情報」を何に使うと?

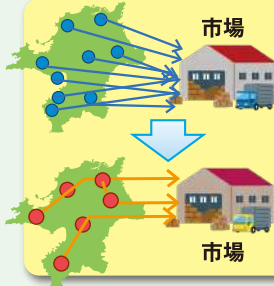
《流通業者:農畜産物販売キーワード》 40%

1位:安定(価格・数量)

2位:安全・安心

3位:気象

日本農業新聞調査(2019/1/7)



県域オールJAでは出荷ルール・市場への配送ルートをきちんと決めて、決められた市場に出荷します。流通業者が最も重視しているのは「価格・数量の安定」です。県域スケールメリットの発揮による安定出荷が信頼の向上・販売単価の向上につながります!



「農業者の所得増大」を掲げるJAとして...

④



ちゃんとルールを決めて、組合員の手取り向上を第一にした販売事業にすべきやない??

ボーっとしよう場合じゃねえばい!

農産物販売コントロールセンター

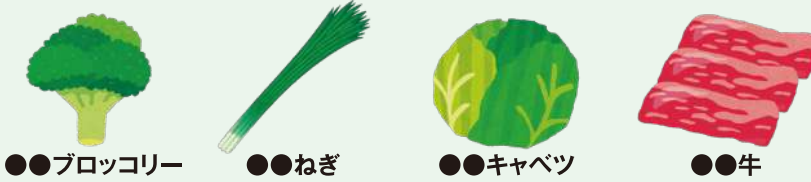


地域のブランドは守られるの？

①



せっかく、地域ブランドを育ててきたのに
合併したら、**他と一緒にされるんやないか？**



●●ブロッコリー

●●ねぎ

●●キャベツ

●●牛

地域ブランド農産物の商標や称呼は、現時点でも
**「どんな条件で使用できるか」という基準を明確に
していますよね？**

合併したからといって、簡単に他の地域が使えないよう
各JAが明確に規定しているはずですよ？



品種名、栽培方法、出荷規格、生産地域、商標権などなど・・・



現状確認したら「昔からなんとなく使っていた」で、
ちゃんとした決まりごとが見つからん・・・

②



特に商標は「**提供者を伝達する標識**」です。
商標権者（JA）は使用の基準を明確にする
必要があります。



使用基準・・・あったような・なかったような・・・
どんな登録してたか・・・実際見たことない(焦)



登録状況は、**インターネットで確認できます。**
使用期限や、称呼、使用区分など、
JAとしてちゃんと認識して、ちゃんと守って使用していますか？



使用基準は●地域で▲年以上肥育された××牛！
**大事な地域ブランドだからこそ、合併前から
整備しなくちゃ！**





③



今のうちに明確に整理しておけば、
合併後も使用基準に沿って利用されることになるね!

商標権以外に「通称」の基準整理も必要です!
昔から●●と呼んでいて有名なものが地域に
ありませんか?

**合併に関係なく商標も基準もなければ、
使われ放題になりますよ!**



供給側の「昔からそう呼んでいます」やなくて
消費者に胸を張って言えるように、**地域ブランドの基準や定義を
明確にしとかんといかんのやね!**

④



県域オールJAを機に地域ブランドの基準見直しを
しっかりせんとヤバいんじゃない??

ポーっとしよう場合じゃねえばい!

合併後は、販売専任、営農指導員、広報部署が
連携して福岡ブランドの魅力を発信し、
生産と販売を強力に支援していきます!!



県域オールJAでは法務担当部門が商標などの権利関係を管理し、
全国に知られる地域ブランド・福岡ブランドを確立します!

「良いモノづくり」に専念して
JAにしっかり販売してもらおう!!



なぜ出荷資材の集約を進めるの？

①

「あまおう」の出荷箱は県内に**21パターン**も存在!



あまおうの出荷段ボールっていくつもありますか？



市場用、スーパー用、直売所用で分けとうよ。JA名も入れたいし、色々事情があるけん。



箱の**高さ5ミリ**違うだけですよ!?
百貨店ではJA名関係なく
同じ値段で売られていますよ!?



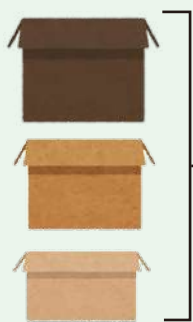
ミリ単位の
こだわり...

箱の中には異なる2JAのパックが!



消費者は箱じゃなくてあまおうを買うんだから
箱にお金かけてJA名アピールする必要あるの?
まとめて安く仕入れた方がみんな喜ぶんじゃない?

②



集約



化粧箱



通いコンテナ

箱を分けて作業する
手間がなくなって
箱単価も下がった!(農家)



箱が統一されて荷積みが
スムーズ!(運送業者)

在庫ある?



送ります!!



標準

店舗間相互融通
在庫リスク減

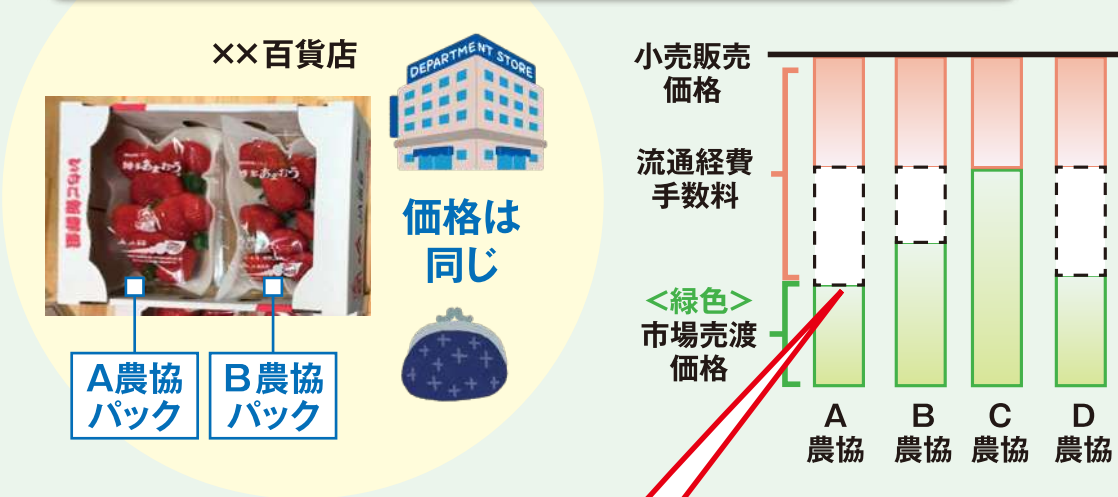
規格を合わせたら、
まとめて仕入れができるし、
融通もできる!



③



市場売渡価格が違うのに小売段階で価格が揃えられているということは、流通段階に農家所得のロスが生まれているんじゃないかなあ・・・



点線部分：所得ロス（あまおう）
各JAの売渡価格を平均額まで引き上げると**3億円**、
最高額まで（C農協）引き上げると**19億円**



もったいない・・・

「農業者の所得増大」を掲げるJAとして・・・

④



県域オールJAになる前に出荷資材の統一ぐらい
すぐにできるんじゃないと??

ボーっとしよう場合じゃねえばい!

コスト低減は組合員さんの所得向上に直結します!
「できることからプラスONE!!」
まずは、JAの現状を把握してみよう!



JA内（JA間）協議調整

- ★出荷資材規格の現状把握・統一方針の検討
- ★隣接JAとの協同仕入・協同輸送の検討
- ★ロット拡大による仕入価格交渉

なぜ資材銘柄の集約を進めるの？

① 購買事業の基本は大量仕入れで安く供給!



「ちくごのめぐみ444」という肥料の
問い合わせがありましたか？



同じ



「くみあいベスト444」と中身は同じバイ。



中身一緒なんですか？
安いから「ちくごのめぐみ」を買いたいと言われましたけど…

大量発注できるJAは安いみたいバイ。
うちはそこまでロットが出らんけんね。



中身が同じなら隣のJAと、まとめて発注すれば、
もう少し安く供給できるんじゃないかなあ…

② それって分ける必要ありますか？



元ヒ一発1号と元ヒ一発2号を
間違えて配送してしまった!



まあ、成分は変わらんけん
大きな問題は起こらんやろ…



なんしよん



え？大丈夫なんですか？
じゃあ分けて取り扱う意味あるんですか？

成分同じやけど窒素の溶け出し方が微妙に違うたい…



知らんと？



成分が同じ肥料を別々に仕入れて、別々に配送して、
別々に棚卸する必要あるの…？



③



まとめて発注・まとめて輸送
→ロット拡大→仕入価格低減



《銘柄集約》
発注ミス・配送ミス減
配送効率UP
棚卸業務効率化

成分で集約!

施肥量やタイミングは
営農指導員が指導します!



④

「農業者の所得増大」を掲げるJAとして…



県域オールJAになる前に資材銘柄の集約ぐらい、
すぐできるんじゃないと??

ボーっとしよう場合じゃねえばい!

コスト低減は組合員さんの所得向上に直結します!
「できることからプラスONE!!」
銘柄集約と協同仕入にとりかかろう!



- JA間協議による調整
- ★銘柄集約
 - ★大ロット発注
 - ★輸送・荷下ろしルール



なぜ配送の集約、在庫管理の徹底が必要なの？

①



肥料は今月、
どのくらい仕入れますか？



倉庫の在庫確認して！ とりあえず、去年どおり発注！！



四の五の言わず
経験と勘！



…ごめん！ ごめん！
隣の資材店舗に在庫あったみたい。。



え…そういうの確認しないんですか？
(だから在庫回転率が低いのか…)

計画的な資材配送体制を構築します！

②



4月に肥料配送が集中していませんか？

注文書を紙でとりまとめようけん、
ギリギリまで配送量が確定せんったい！



暇な3月に配送を分散すれば
トラック台数はもっと減らせる気がしますよ？

そういうのは業者に任せとけ!!
うちは「いつまで・何トン・どこに」を知らせばいいと！



しゃあしい

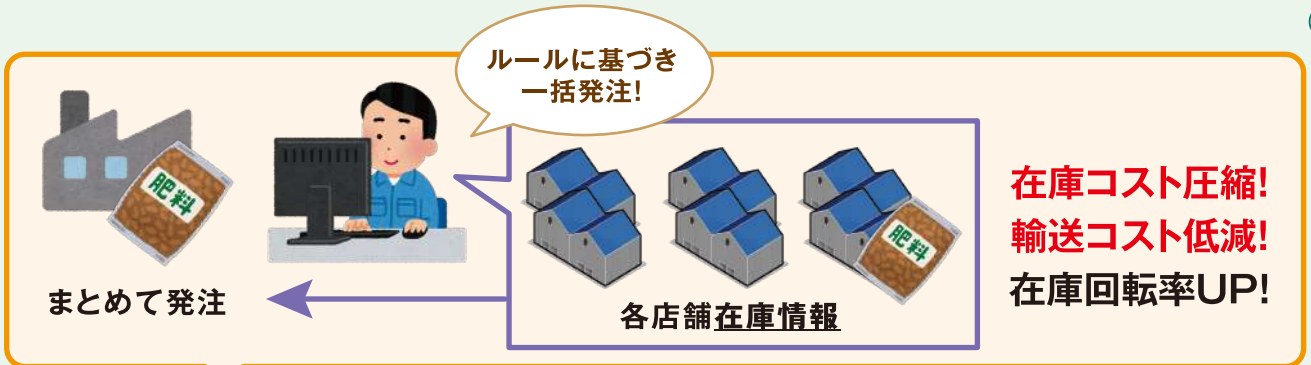


でも、そのコストは組合員さんに負担して
もらうことになりますよね。。。

どげんかせな



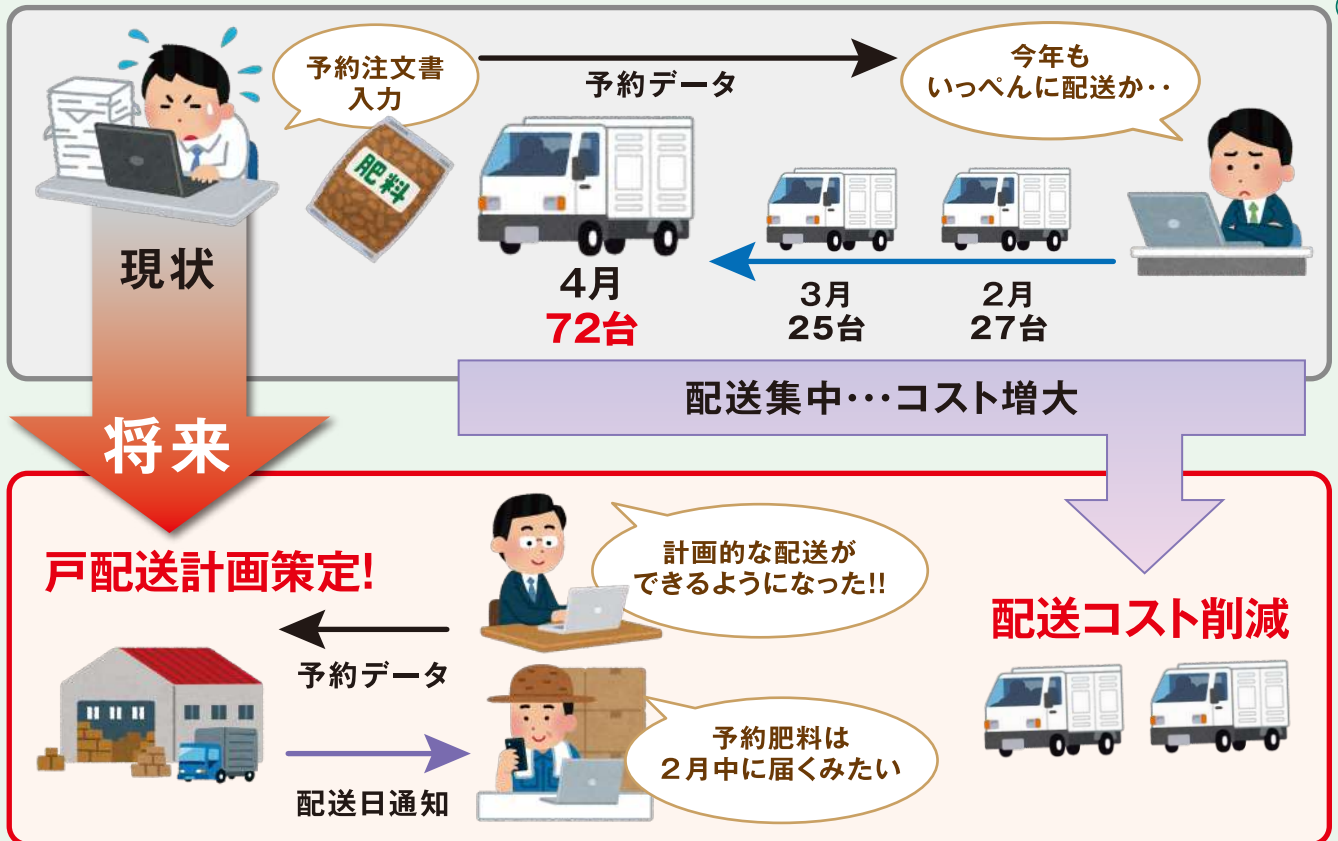
③



※事例: JAさが→受発注コスト6億円削減!



④



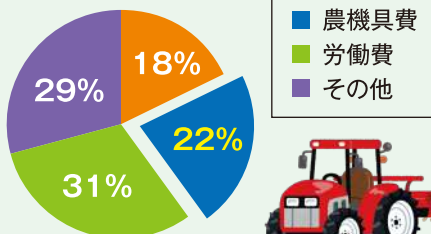
農業に関する情報をどのように活用するの？

①



実は肥料・農薬（18%）より農機コスト（22%）の方が費用として出ていく割合が大きいとですよ～

米生産費内訳



分かつうなら対策せんか!!

なんば言いようとか!?

で…ですよ!!



「長く・賢く」農機を使ってもらえるように何か提案できないですかね？



そうやね! まずは情報を整理してみようか!



農機保有情報で販促マーケティング!

②



データベース化



- ★農機保有情報
- ★農家経営情報

組合員さんの経営状況とか後継者まで調べようけど、何に使うと??



できる部下!



メンテナンスや買い替えの時期を予測できるし、経営に合わせてどんな農機具を勧めるべきか判断しやすくなりますよ!!



組合員さんの将来を見越して、経営に合わせた農機への投資を提案すべきなんやね!!

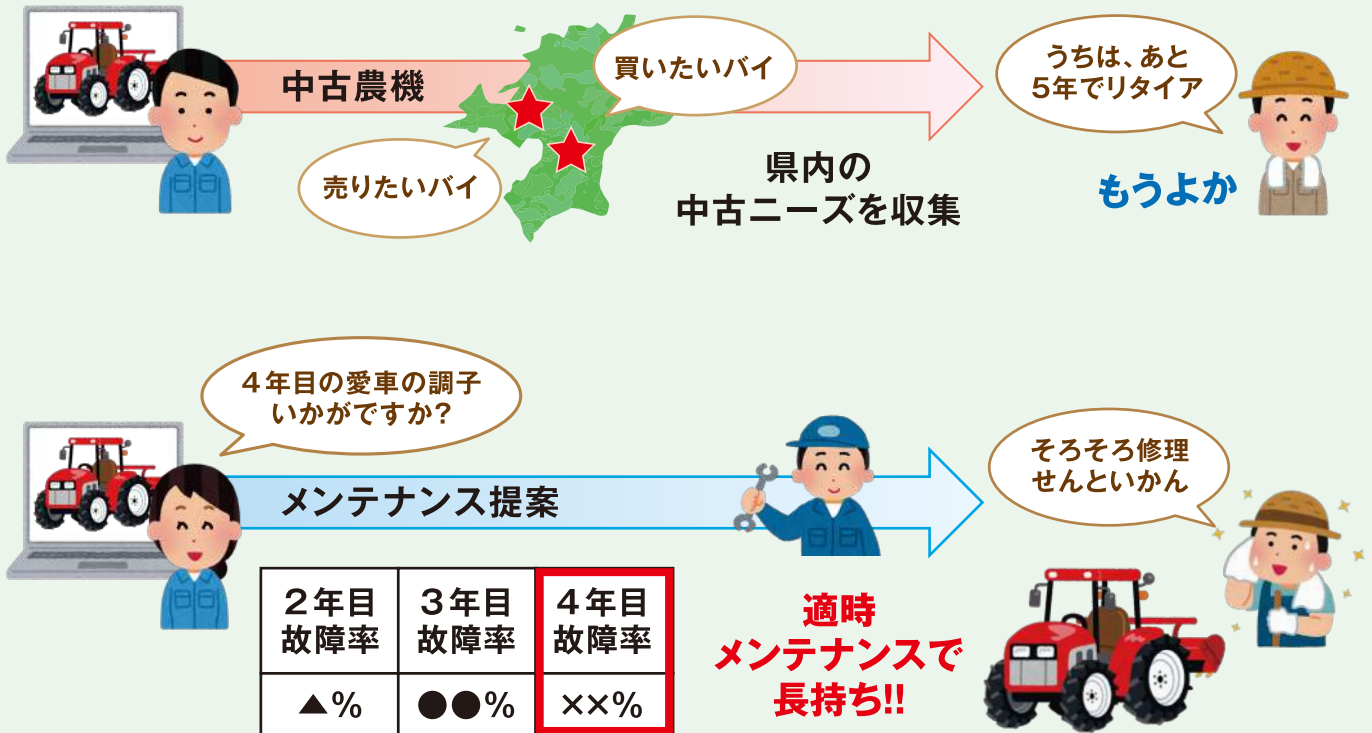


考えとんしゃあ

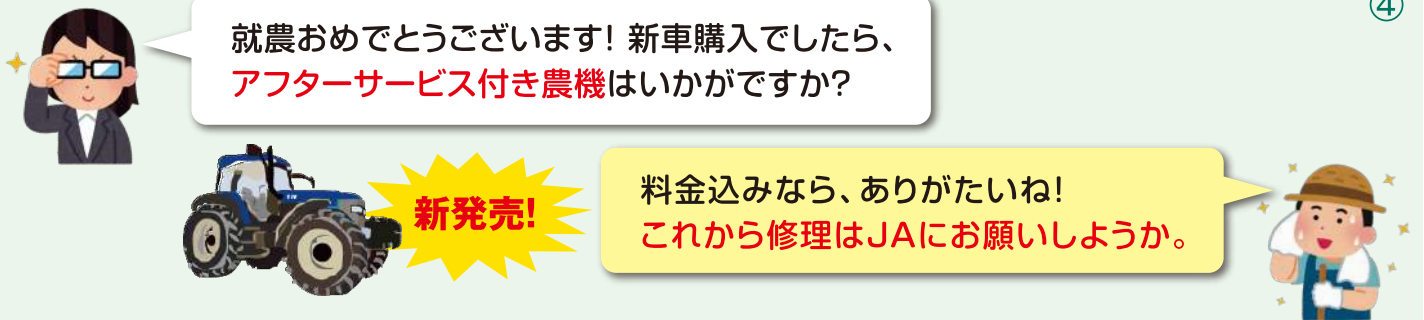


③

情報を最大限に活用します!



④



【情報技術】研究・スマート農業推進拠点を設置!!

県域農業技術センター

土壌診断に基づく指導



ドローン技術



仮想訓練・仮想体験



あなたとふるさとのいちばん近くに!

①

目指すのは営農・暮らしのお悩みを
いつでも、誰でも、何でも相談できるJAです!



相談しやすいJAづくり、
みんなが集まる支店づくりをしてほしい!!



県域オールJAでは、
お近くの支店を中心とした総合相談体制により
ワンストップであらゆる相談に対応します!



本店には税務・会計・法務の専門職員を配置し、
支店職員を強力サポート!



我々、渉外担当者もみなさんのもとへ出向き、
営農・暮らしのお悩みを共に解決します!!

②

組合員のいちばん近くに!



営農事業資金の相談に来たんやけど。

経営コンサル



融資渉外



組合員さんの経営から試算しますと、
現在の融資可能額は●●万円です!



審査が早くなったね!

融資渉外

営農指導・経営支援担当職員の紹介や、
将来に備えた様々なご提案に伺います!



日頃からJAに経営を見てもらいようなら話も早いし、安心やね!



③

「よい食」のいちばん近くに!



県域オールJAは県内の学食や企業社食など
消費者の近くに「県産県消の場」を生み出し、
県民の日々の食生活を県産農畜産物消費に繋がります!!

よい食サポーター
(組合員)

優良



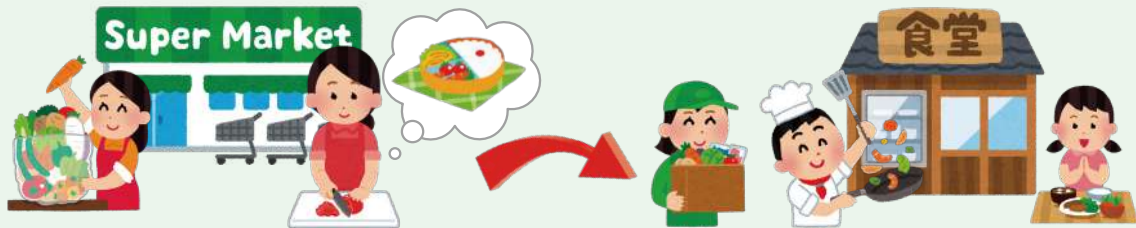
産地・県産率見える化
「お弁当づくり」代行
会員割引、通帳決済

☆ JAキッチン ☆



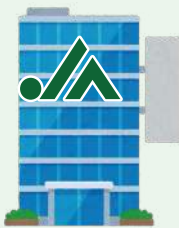
買って応援

毎日食べて応援



「あなた」に寄り添うJAに!!

④



《その他の県域オールJA事業戦略》

- ☆ **農業振興** (JAファン感謝祭、援農ボランティアなど)
- ☆ **地域振興** (企業協力会議・スポンサー支援など)
- ☆ **見守り活動** (戸別訪問・安否確認・地域支援など)
- ☆ **災害への備え** (災害積立金・支援トラック配備など)
- ☆ **担い手づくり** (農ある暮らし事業、婚活パーティなど)

県域オールJAになることで「ヒト・モノ・カネ」に余力を生み出し、
最速で経営基盤を強化するとともに、
将来を見据えた**人財づくり**や**地域貢献活動**に力を注ぎます!



県域オールJAに参加しないと、説明を受けたメリットや、
協同活動の効果を受けられなくなるのかな・・・?
将来を考えると、色々なことができる強いJAの組合員になって
農業を頑張る方が良いのかも・・・

★県域オールJA実現に向けた

合併推進本部による
研究体制発足

2019

7月



組合員への説明・協議
各JA理事会での検討

2020



合併総代会
(参加JA同日同時刻開催)

2020

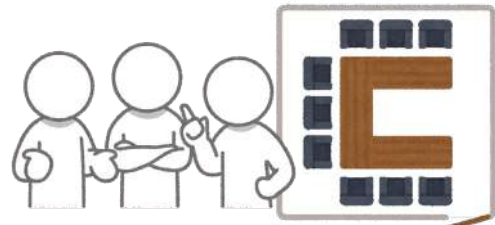
4月

合併総代会



情報共有(説明会・理事会等)
合併に向けた最終調整
システム対応

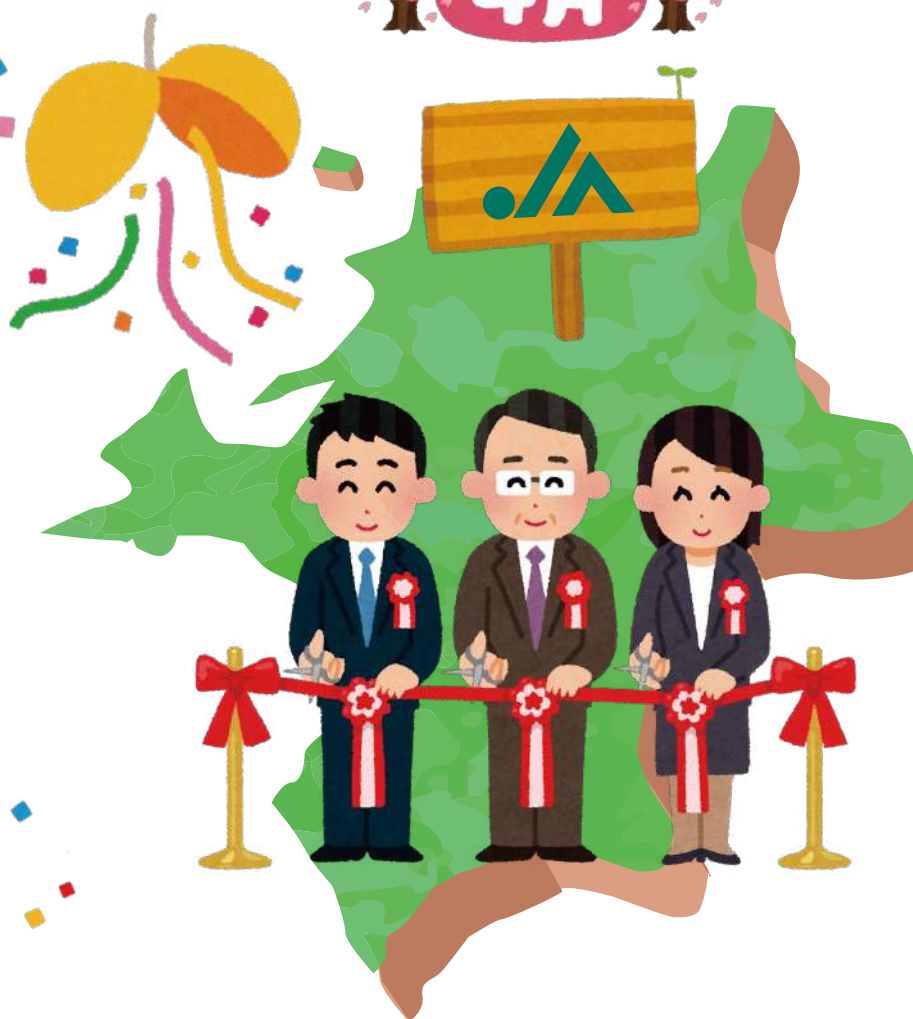
2021



新JA発足

2022

4月



県域オールJAは

2022年発足をめざしています!



合併メリットを数字で可視化



県域オールJAが3カ年で発揮を目指す、
合併メリットの**目標値**をご紹介します!

平均単価以下の博多ブランド品目が
平均まで上がったら!



収益
2千万円
UP!

販売高
9億円向上



※タラの芽

出荷業務を集約したら! **業務効率化効果 11億円!**

出荷業務の労力(↑11億円)を販売業務にシフトしたら!



販売収益
9億円
UP!



※鱧(魚類)

直売所リレーで
客単価を100円UPできたら!



収益
5千万円
UP!

販売高
3億円向上



県域オールJA事業戦略 ALL実現効果

コスト削減

54億円(目標)

それを言うなら
見込みやろ!



交渉力強化により
資材原価を2%削減できレバ!



コスト
8億円
削減!



経済基幹店舗により
30%在庫圧縮できレバ!

コスト
1億円
削減!

出荷資材が
標準
県域で統一されタラ!



コスト
2億円
削減!

効率化できそうな部分が
まだまだ...(小声)



信用・共済業務集約により
労力を融資にシフトできレバ!

貸出収益
6億円
UP!



本店業務集約により
労力を指導販売にシフトできレバ!



販売収益
5億円
UP!

収益向上 **32億円**(目標)



やるしかない!

54、32、1JAで
覚えてね!!

 **JAグループ 福岡 改革推進本部**

TEL:092-711-3818